

令和5年度 長岡市社会資本総合整備計画等 事業評価監視委員会

計 画 名 : 社会資本総合整備計画

「信濃川流域における工業団地のアクセス対策」
「長岡市の安全で快適な道路ネットワークの形成」

分 野 : 道路

交付金名 : 社会資本整備総合交付金

評価種別 : 事後評価

令和6年2月1日



目 次

1. 社会資本総合整備計画の概要について・・・P 3
 - (1) 上位計画の概要・・・・・・・・・・・・・・・・P 3
 - (2) 本整備計画の概要・・・・・・・・・・・・P 9
 - (3) 事業の内容・・・・・・・・・・・・・・・・P19

【 質 疑 】
2. 評価結果の内容について・・・・・・・・P45
 - (1) 成果の達成度・・・・・・・・・・・・P45
 - (2) 事業の効果発現要因の整理・・・・・・・・P64

【 審 議 】
3. 今後の整備方針について・・・・・・・・P69

【 審 議 】

1. 社会資本総合整備計画の 概要について

(1) 上位計画の概要

本整備計画の位置づけ

長岡市総合計画

市政運営の
基本方針を定めるもの

都市計画マスタープランは
「土木・都市整備分野」を受け持つプラン

都市計画マスタープラン

市総合計画に基づき、各政策分野の基本
方針を定めるもの

地域公共交通網形成計画
立地適正化計画
橋りょう長寿命化計画
トンネル長寿命化計画
長岡都市圏交通円滑化総合計画
国土強靱化計画
地域防災計画
交通安全計画 等

基本計画

個別分野の基本計画で、市総合計画や
マスタープランに即して定められるもの
(道路・交通・公園・住宅・下水道など)

社会資本総合整備計画

上位計画：長岡市総合計画（2016～2025年度）

将来像

前より前へ！長岡 志を未来に活かし輝き続けるまち

政策5 都市環境の充実

豊かな自然とまちの魅力が共生し、暮らしやすく、快適で環境にやさしいまちづくりを目指す

施策の柱

5-1.

拠点性を高めるまちづくりの推進

5-2.

身近な生活基盤の整備・活用

5-3.

災害に強いまちづくりとインフラの長寿命化

5-4.

自然環境の保全・活用と環境負荷の軽減

基本施策の方向性

- 都心地区及び各地域の中心部等の拠点性の向上に加え、それらを相互に結ぶ公共交通の確保や交通結節機能の強化、**広域幹線道路体系の整備を進める**
- 地域の実情や、**安全・安心**、子育てなどに対する市民ニーズを踏まえ、**道路、公園・緑地、河川・親水空間、上下水道、斎場・墓園、廃棄物処理施設などの生活基盤の整備を進める**
- **冬期間の市民の安全・安心な暮らしを守るため、良好な除雪体制を維持するとともに、消雪施設などの適切な維持管理と更新を行い、雪に強いまちづくりを進める**

上位計画：都市計画マスタープラン（2010～2019年度）

策定の目的

市町村合併に伴う行政区域の広域化と、都市を取り巻くさまざまな社会経済情勢の変化に対応した都市づくりの方向性を示す

整備方針

【道路網の整備方針】

- 広域的な都市間の交流・連携の促進に向けて、高速道路の積極的な活用とともに、ラダー型広域幹線道路網の整備に取り組めます。
- 円滑で安全・安心な交通環境を形成するため、都市内幹線道路網の整備をはじめ、歩行者の安全性に配慮した道路空間づくりに取り組めます。

【観光交流都市づくりの整備方針】

- 観光交流を支える道路・交通環境の整備・充実を図ります。
 - マイカー利用者の受け入れ体制の強化
 - ・ICに接続する幹線道路の整備を推進
 - 公共交通による利便性の確保
 - 観光交流を支える都市基盤の整備

主な取り組み（道路・交通体系）

【道路網の整備方針】

- 広域的な交流・連携を促進する道路網の整備に取り組めます。
 - 高速道路の積極的な活用
 - ・新たなスマートICの設置の検討
 - ・ICに接続する幹線道路の整備
 - ラダー型広域幹線道路網の整備
 - 主要幹線道路（国道や県道など、地域間を結ぶ道路）の整備
 - 道の駅の整備
- 市内の円滑かつ安全・安心な交通環境の形成を進めます。
 - 都市内幹線道路網（都市計画道路など、骨格となる道路）の整備
 - ・都市内幹線道路の整備を計画的に推進
 - ・交通渋滞の緩和や移動時間の短縮など、整備効果の高い路線から順次に実施
 - 安全・安心かつ快適な道路空間の形成
 - ・雪国の特性に配慮した道路整備、除雪体制の維持

上位計画：都市計画マスタープラン (2021～2030年度)

全体構想 2 道路・交通体系の方針

■道路網を取り巻く情勢（抜粋）

- 1.人口減少に伴う交通需要の変化
- 2.ラダー型広域幹線道路網の整備推進
- 3.道路の維持管理費の増加と予防保全の推進

整備方針

【道路網の整備方針】

- ① **広域幹線道路の整備**による都市間連携軸の強化
- ② **ラダー型広域幹線道路網の更なる整備**
- ③ **道路整備の選択と集中、安全性・快適性を高める道路空間づくり**
- ④ **道路施設の老朽化と今後の維持管理**
- ⑤ **除雪体制の維持と効率的な除雪**
- ⑥ **道路の多面的な活用の促進**



主な取り組み（道路・交通体系）

【主な取組】

- ① **都市間連携軸となる道路網の整備**
- ② **信濃川左岸バイパス南北延伸の推進**
 - ・長岡東西道路の4車線化の促進
 - ・大積スマート IC（仮称）の設置及び長岡ニュータウン連絡道路の整備推進
- ③ **新たな生活道路の整備に当たっての十分な検討**
 - ・関係機関との連携による交通渋滞対策の促進
- ④ **既存道路の安全性、快適性を高める道路空間づくり**や通学路の整備
 - ・道路の包括的管理業務委託の推進
- ⑤ **新たな除雪システムの構築による除雪体制の維持**を検討
 - ・道路ネットワークを重視した**効率的な除雪**の実施
- ⑥ **地域の賑わい空間としての道路空間の利活用**の促進（歩行者利便増進道路の展開など）

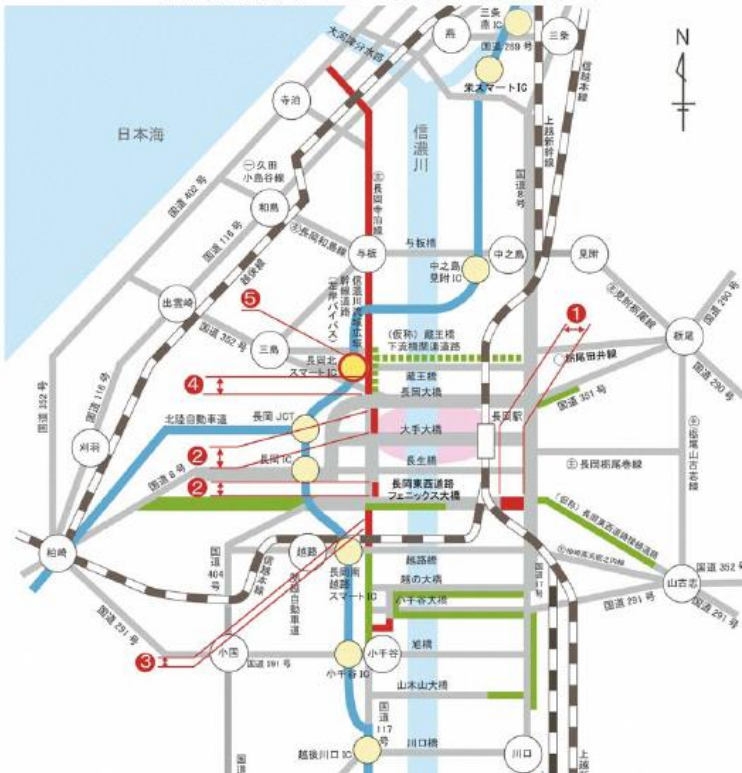
長岡都市圏交通円滑化総合計画 (H27～36年度)

計画の着眼点

- ◇過度な道路整備に頼らない(道路整備の選択と集中)
- ◇周辺地域から中心部までの連携強化
- ◇中心部の回遊性向上・信濃川兩岸の連携強化
- ◇過度な自動車利用の抑制(ソフト施策の充実)
- ◇公共交通・自転車の利用促進

目標年次における計画

《幹線道路ネットワーク計画(整備予定)》



交通課題に向けた対応

■ 渋滞箇所における対策

- ・幹線道路ネットワークの整備、局所的な対策
- ・交差点改良や信号現示の見直し

■ 道路防災対策・雪害対策

- ・災害発生時の被害軽減、円滑かつ迅速な応急活動の支援
- ・冬期の安全な暮らしや交通・移動手段の確保を図るための取り組み

1. 施策の目的

- 地域間の連携強化
- 安全で快適な住みよいまちづくりの実現
- 信濃川渡河部の渋滞解消
- 過度な自動車利用の抑制

2. 幹線道路ネットワーク整備計画

- 短・中期整備路線のうち、①～⑤の区間における計画路線の整備を目指す。

計画路線	区間・位置
<u>長岡東西道路</u>	①国道17号～宮内
<u>信濃川流域広域幹線道路(左岸バイパス)</u>	②国道8号～長岡東西道路 ③長岡東西道路～越路S1C ④国道8号～長岡北S1C
<u>長岡北スマートIC</u>	⑤

1. 社会資本総合整備計画の 概要について

(2) 本整備計画の概要

本整備計画の概要1

計画の名称

信濃川流域における工業団地のアクセス対策

計画期間

平成30年度～令和4年度（5年間）

計画の目標

工業団地の造成と連携してアクセス道路を整備することにより、物流の速達性を高め、成長基盤の強化を図る。

計画の成果目標

	項目	当初現況値（H29）	目標値（R04末）
1	長岡北スマート流通産業団地から小千谷市役所までの到達時間（実走調査）	43分	40分
2	西部丘陵地区から国道8号までの到達時間（実走調査）	10分	10分 （当初現況値を据え置く）
3	西部丘陵地区における企業立地件数（契約実績を調査）	20件	20件 （当初現況値を据え置く）

本整備計画の概要1

評価指標 1

○長岡北スマート流通産業団地から小千谷市役所までの到達時間

目標値設定の考え方

○完成後の西幹線81号線を含めた想定ルートでの延長と設定速度により各路線ごとの所要時間を算出し設定。

【現況値】

43分



【目標値】

40分

指標の算出方法

○スタート地点の北SIC東側出入口からゴール地点の小千谷市役所まで実走する。

○複数回走行し、その平均値を採用する。

○計測条件：平日、晴または曇の乾燥路面、10:00～17:00の時間帯。

本整備計画の概要1

評価指標 2

- 西部丘陵地区から国道8号までの到達時間

目標値設定の考え方

- 現況値の実測結果をそのまま据え置く。

【現況値】
10分



【目標値】
10分

※西幹線84号線が未整備のため当初現況値を据え置く。最終目標は5分とする。

指標の算出方法

- スタート地点の県道長岡西山線と市道西幹線77号交差点からゴール地点の国道8号宮本PAまで実走する。
- 往復で走行し、その平均値を採用する。
- 計測条件：平日、晴または曇の乾燥路面、10:00～17:00の時間帯。

本整備計画の概要1

評価指標3

- 西部丘陵地区における企業立地件数

目標値設定の考え方

- 現況値の実測結果をそのまま据え置く。

【現況値】
20件



【目標値】
20件

※西幹線84号線が未整備のため当初現況値を据え置く。最終目標は24件とする。

指標の算出方法

- 関係課（産業立地・人材課）資料による。
- オフィス・アルカディア及び西部丘陵東地区に立地する企業の契約年月日から、基準日（平成29年度末）に契約済の企業数を集計する。

本整備計画の概要2

計画の名称

長岡市の安全で快適な道路ネットワークの形成

計画期間

平成30年度～令和4年度（5年間）

計画の目標

長岡都心と各地域拠点を結ぶ広域幹線道路を整備するとともに、渋滞対策・安全対策を実施し、雪に強く速達性の高い地域活性化の基盤となる安全で快適な道路交通を確保する。

計画の成果目標

	項目	当初現況値（H29）	目標値（R04末）
1	新規工業団地（長岡北スマート流通産業団地）から小千谷市役所までの到達時間（実走調査）	43分	40分
2	道路の実延長に対する有効幅員6.0m以上道路の割合の向上	(H28) 37%	38%
3	道路の実延長に対する除雪延長割合を維持または向上	59%	59%
4	長岡市内公設産業団地（オフィスアルカディア・西部丘陵東地区・長岡北スマート流通産業団地）の企業立地面積割合の増加	23%	62%

本整備計画の概要2

評価指標 1

- 長岡北スマート流通産業団地から小千谷市役所までの到達時間
(概要1の評価指標1と同様)

目標値設定の考え方

- 完成後の越路191号線などを含めた想定ルートでの延長と設定速度により各路線ごとの所要時間を算出し設定。

【現況値】

43分



【目標値】

40分

指標の算出方法

- スタート地点は北SIC東側出入口、ゴール地点は小千谷市役所。実走速度は法定速度を保持する。
- 複数回走行し、その平均値を採用する。
- 計測条件：平日、晴または曇の乾燥路面、10:00～17:00の時間帯。

本整備計画の概要2

評価指標 2

○道路の実延長に対する有効幅員6.0m以上道路の割合の向上

目標値設定の考え方

○今回の社会資本総合整備計画で新設・改良する道路の総延長は約19kmで、長岡市の市道総延長約3,500kmの0.5%程度である。これに加え、市道の廃止等も考慮して1%程度の向上を目標とする。

【現況値】

37%



【目標値】

38%

指標の算出方法

○全市の市道整備状況から以下の計算により算出する。

「(幅員6.0m以上道路の延長) / (市道の実延長) × 100」

○関係課(道路管理課)資料「長岡市道の整備状況(全市)」による。

本整備計画の概要2

評価指標 3

○道路の実延長に対する除雪延長割合を維持または向上

目標値設定の考え方

○道路の実延長には、山間地の冬季閉鎖や市街地の除雪不能箇所など、除雪しない道路が含まれる。また除雪延長は、道路新設や人口減少による増減の中で、冬季のより安全安心な生活環境形成のため、現状維持を目標とする。

【現況値】
59%



【目標値】
59%

指標の算出方法

○活力創出交流基盤整備計画資料から以下の計算により算出する。
「(除雪による延長※) / (市道の実延長) × 100」

※除雪による延長：機械除雪延長と消雪パイプ延長の合計

○関係課（道路管理課）資料「機械除雪と消雪パイプの整備状況」による。

本整備計画の概要2

評価指標 4

○長岡市内公設産業団地（オフィスアルカディア・西部丘陵東地区・長岡北スマート流通産業団地）の企業立地面積割合の増加

目標値設定の考え方

○既に多くの企業が立地するオフィスアルカディア・西部丘陵東地区に加え、長岡北スマート流通産業団地の契約面積が100%になることを期待して数値を設定。

【現況値】

23%



【目標値】

62%

※R6年度末供用予定の公設産業団地及び道路があるため、途中過程の成果(R6最終目標:96%)

指標の算出方法

○対象3団地の関連資料から以下の計算により算出する。

「(契約済面積+契約予定面積) / (総面積) × 100」

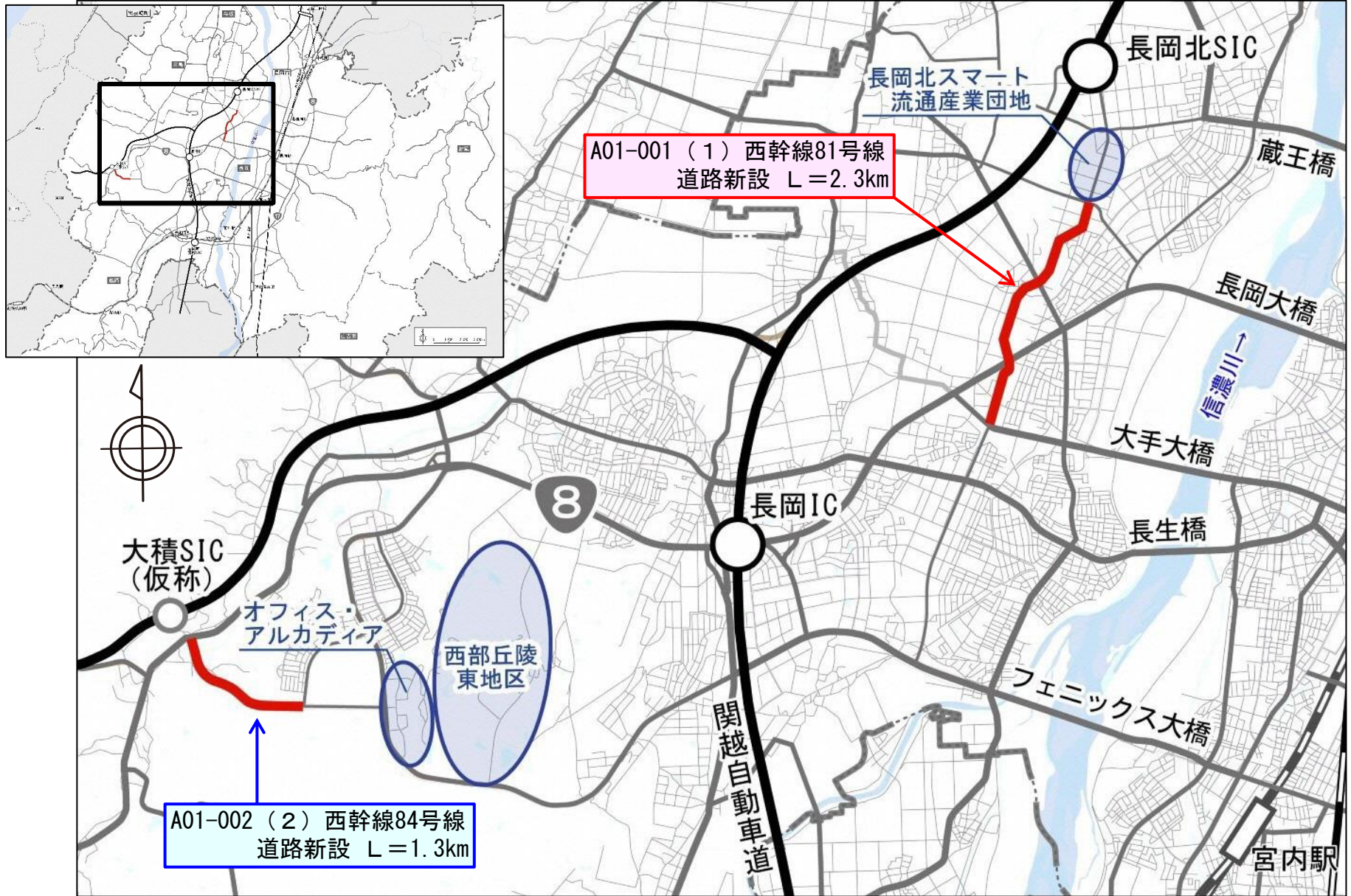
○関係課（産業立地・人材課）資料「オフィスアルカディア・西部丘陵東地区・長岡北スマート流通産業団地契約面積」による。

1. 社会資本総合整備計画の 概要について

(3) 事業の内容

事業の内容(位置図)

1. 信濃川流域における工業団地のアクセス対策



事業の内容(進捗状況1)

1. 信濃川流域における工業団地のアクセス対策

	番号	要素事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)
				H30	H31 (R01)	R02	R03	R04	
1 工業団地 アクセス	01-001	(1) 西幹線81号線	道路新設 L = 2.3km					継続	2,593
	01-002	(2) 西幹線84号線	道路新設 L = 1.3km					継続	277
	年度別事業費		計	466	643	528	796	473	2,870

※端数処理の関係で合計値が一致しない場合がある

事業の内容：1. 工業団地のアクセス

01-001 (1) 西幹線81号線 (左岸バイパス北延伸)

目的・効果：長岡北SIC南側に造成される流通産業団地への1次アクセス道路として、川西地域の物流効果を高め、流通団地としての価値向上を図り、企業誘致を促進させ、地域経済の発展を図る。

事業の内容：道路新設 L = 2.3km

工期：H30～ 【完了】

【着手前】



【着手後】



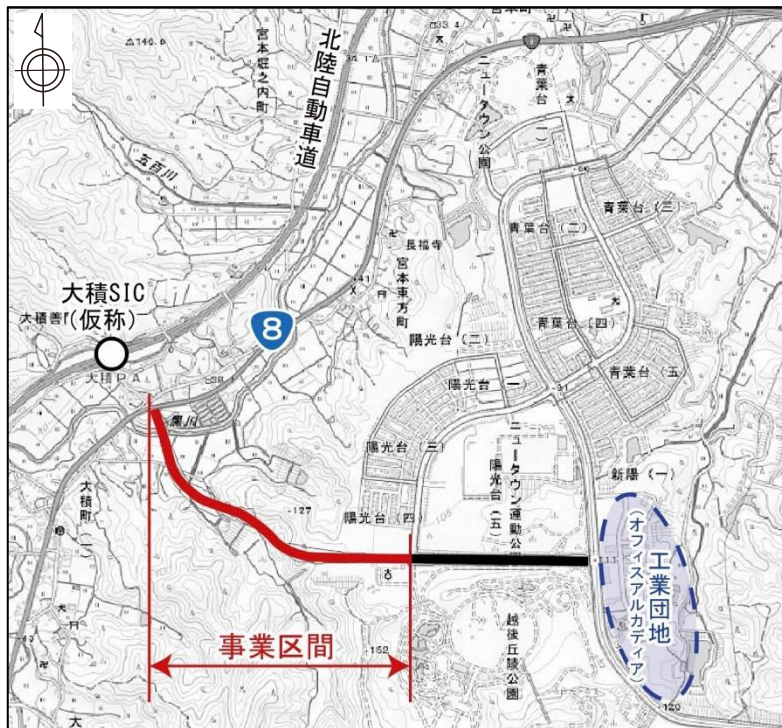
事業の内容： 1. 工業団地のアクセス

01-002 (2) 西幹線84号線 (長岡NT連絡道路)

目的・効果：工業団地から国道8号へのアクセス道路として、北陸・関西方面への物流効果を高め、企業誘致の促進と地域経済の発展を図る。

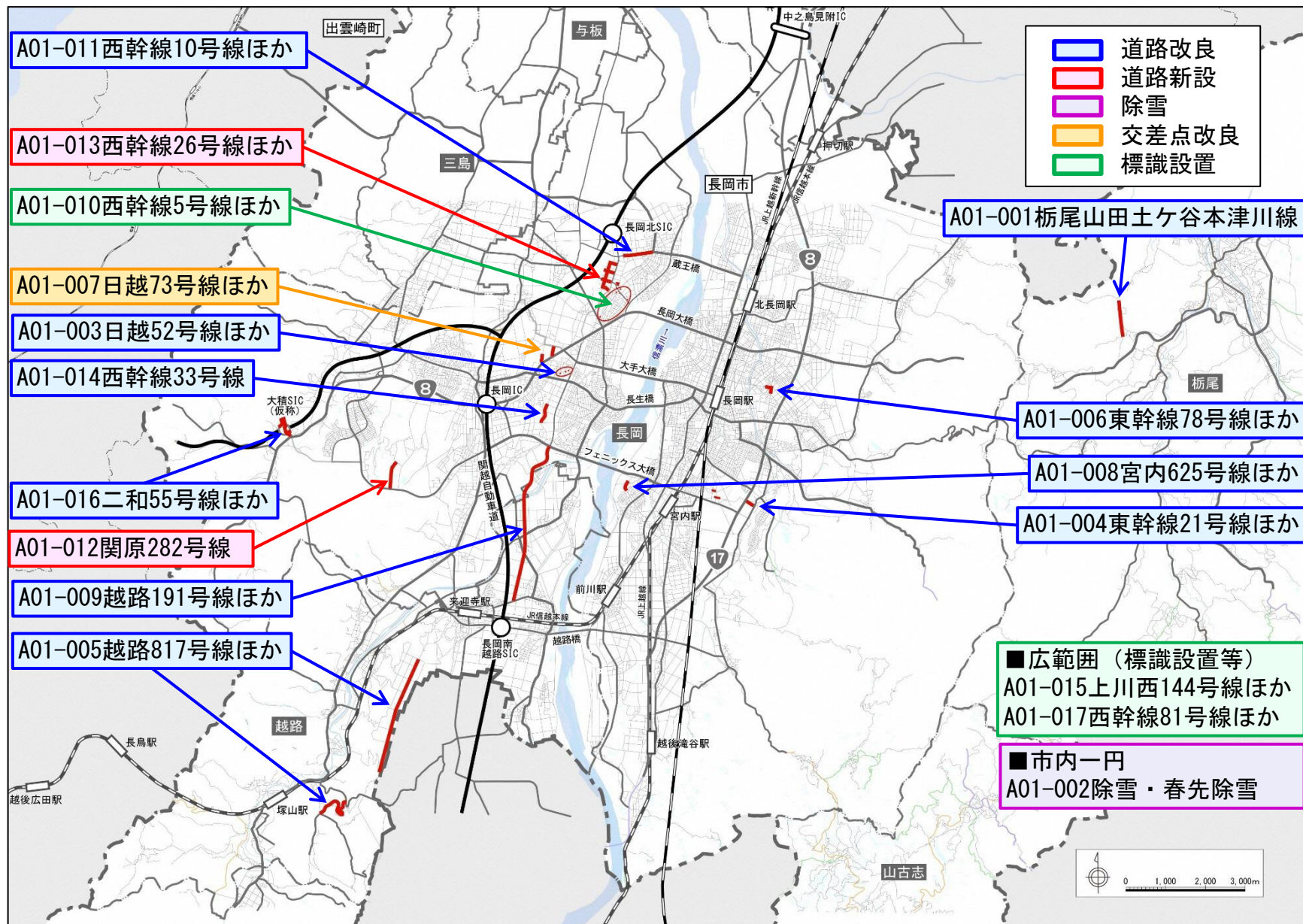
事業の内容：道路新設 L = 1.3km

工期：H31～ 【継続】



事業の内容(位置図)

2. 長岡市の安全で快適な道路ネットワークの形成



事業の内容(進捗状況2)

2. 長岡市の安全で快適な道路ネットワークの形成

	番号	要素事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)
				H30	H31 (R01)	R02	R03	R04	
2 安全 快適な 道路 ネット ワーク	01-001	(1) 栃尾山田土ヶ谷本津川線	道路改良 L = 1.0km					継続	280
	01-002	(1) 東幹線1号線ほか	除雪・春先除雪 L = 1,166.8km			完了			3,100
	01-003	(他) 日越52号線ほか	道路改良 L = 0.3km					継続	270
	01-004	(1) 東幹線21号線ほか	道路改良 L = 0.47km					完了	107
	01-005	(1) 越路817号線ほか	道路改良 L = 4.1km					継続	1,055
	01-006	(1) 東幹線78号線ほか	道路改良 L = 0.3km			完了			170
	01-007	(他) 日越73号線ほか	歩道整備 L = 0.2km	完了					13
	01-008	(1) 宮内625号線ほか	道路改良 L = 0.25km					継続	102
	01-009	(他) 越路191号線ほか	道路改良 L = 4.1km					継続	1,949
	01-010	(1) 西幹線5号線ほか	標識設置・改修 N = 10基					継続	33

事業の内容(進捗状況2)

	番号	要素事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)
				H30	H31 (R01)	R02	R03	R04	
2 安全快適な道路ネットワーク	01-011	(1) 西幹線10号線ほか	道路改良 L = 1.0km					継続	111
	01-012	(他) 関原282号線	道路新設 L = 0.7km					完了	153
	01-013	(他) 西幹線26号線ほか	道路新設 L = 1.6km				完了		361
	01-014	(他) 西幹線33号線	道路改良 L = 0.5km					継続	133
	01-015	(他) 上川西144号線ほか	道路標識設置 21基			完了			6
	01-016	(他) 二和55号線ほか	道路改良、SICアクセス L = 0.99km					継続	112
	01-017	(他) 西幹線81号線ほか	標識設置 N = 9基				完了		4
	年度別事業費			計	1,961	1,668	2,162	887	1,281

※端数処理の関係で合計値が一致しない場合がある

事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-001 改築（1）栃尾山田土ヶ谷本津川線

目的・効果：日常生活の利便性向上を図るとともに、栃尾地域における主軸路線を結ぶ環状バイパスを完成させ、国道351号の通勤・通学時における渋滞解消と、長岡と見附を結ぶ広域市町村圏の道路ネットワークの確立に寄与する。

事業の内容：道路改良 L = 1.0km

工期：H30～ 【継続】



事業箇所鳥瞰



事業の様子

事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-002 除雪（1）東幹線1号線ほか

目的・効果：冬期間から春先の経済活動の確保と市民生活の安定を目的とし、降雪による道路交通への障害を迅速かつ適切に排除する。

事業の内容：除雪・春先除雪 L = 1,166.8km

工期：H30～R02 【完了】



↑
【拡幅除雪】

【押し分け除雪】生活道路



↑
【押し分け除雪】(ペア)
幹線道路

事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-003 改築（他）日越52号線ほか

目的・効果：市道日越64号線の整備と合わせて現道を拡幅することで、国道8号から左岸バイパスまでの高規格道路を結ぶ東西方向へのネットワークを付加し、多方向への交通分散による交通円滑化と渋滞解消を図る。

事業の内容：道路改良 L = 0.3km

工期：H30～ 【継続】



←【橋②着手前】

【橋②着手後】



事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-004 改築（1）東幹線21号線ほか

目的・効果：緊急車両・通院等新たな交通量の増加に伴う近隣の渋滞を解消し、国道・県道への円滑なアクセスと既成市街地の道路ネットワークを形成することにより、地域住民の安全安心な生活環境を確保する。

事業の内容：道路改良 L = 0.47km

工期：H30～R04 【完了】



←【③着手前】

【③着手後】



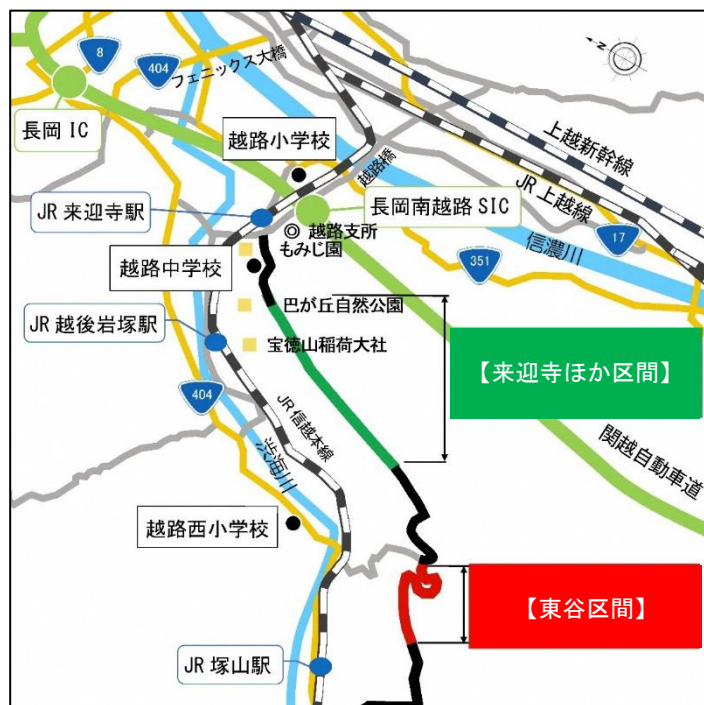
事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-005 改築（1）越路817号線ほか（越路原バイパス）

目的・効果：渋海川の氾濫による道路冠水などによって国道404号が通行不能になった際の緊急輸送道路としての機能のほか、国道404号とのダブルネットワーク化により、輸送用大型車両等の往来の円滑化、防災力の強化に寄与する。

事業の内容：道路改良 L = 4.1km

工期：H30～ 【継続】



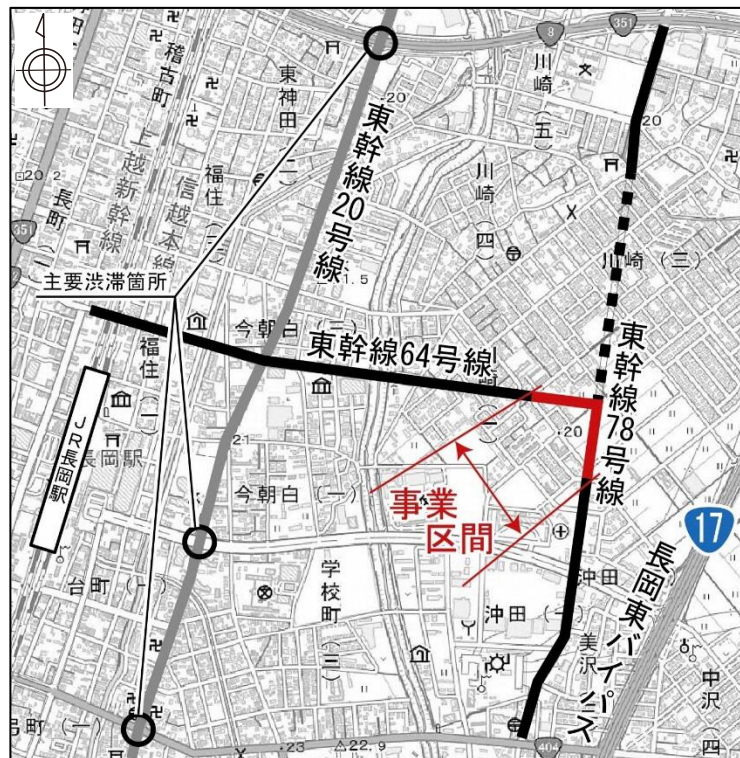
事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-006 改築（1）東幹線78号線ほか

目的・効果：近隣で主要渋滞箇所を選定されているものの拡幅改良が困難な東幹線20号線に代わって、経済的に有利な当該路線を改築することで、多方向への交通分散による交通円滑化と渋滞解消を図る。

事業の内容：道路改良 L = 0.3km

工期：H30～R02 【完了】



←【着手前】

【着手後】



事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-007 交安（他）日越73号線ほか

目的・効果：当該路線は隣接地の道の駅建設による交通量の大幅な増加が見込まれ、また、事故危険区間に選定されていることから、交差点改良等の交通安全対策の実施により、事故危険区間における交通事故の減少を図る。

事業の内容：歩道整備 L = 0.2km

工期：H30 【完了】



←【着手前】

【着手後】



事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-008 改築（1）宮内625号線ほか

目的・効果：長岡東西道路が国道17号まで延伸することにより予想される交通量の更なる増加に対し、県道山田中潟線の迂回路として整備し、交通円滑化と渋滞解消を図る。

事業の内容：道路改良 L = 0.25km

工期：H30～ 【継続】



←【着手前】

【着手後】



事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-009 改築（他）越路191号線ほか（左岸バイパス南延伸）

目的・効果：北スマート流通産業団地の流通経路として大規模店舗が集積する地域を結ぶことで、川西地域の市内周遊物流効果を高め、企業誘致の促進と地域経済の発展を図る。

事業の内容：道路改良 L = 4.1km

工期：H30～ 【継続】



事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-010 交安（1）西幹線5号線ほか（標識適正化）

目的・効果：左岸バイパス等幹線道路網の整備に合わせ、道路標識適正化委員会で決定された標識の新設、部分補修等を行うことで、道路利用者の安全で円滑な移動の確保及び利便性の向上を図る。

事業の内容：標識設置・改修 N = 10基

工期：H30～ 【継続】



※残りの5基は、越路191号線ほかの進捗に合わせて整備予定

事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-011 改築（1）西幹線10号線ほか

目的・効果：部分的に狭隘な箇所がある当該路線を拡幅整備し、長岡北スマート流通産業団地と川東の産業地域をはじめとした企業集積地とのアクセス性能を向上させることで、企業誘致の促進と地域経済の発展を図る。

事業の内容：道路改良 L = 1.0km

工期：H31～ 【継続】



←【着手前】

【着手後】



事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-012 新設（他） 関原282号線

目的・効果：国道8号と西部丘陵東地区を結ぶ幹線道路である当該路線を整備し、工業団地から国道8号へのアクセス性を向上させることで、北陸・関西方面への物流効果を高め、企業誘致の促進と地域経済の発展を図る。

事業の内容：道路新設 L = 0.7km

工期：H31～R04 【完了】



着手前



舗装



改良



竣工



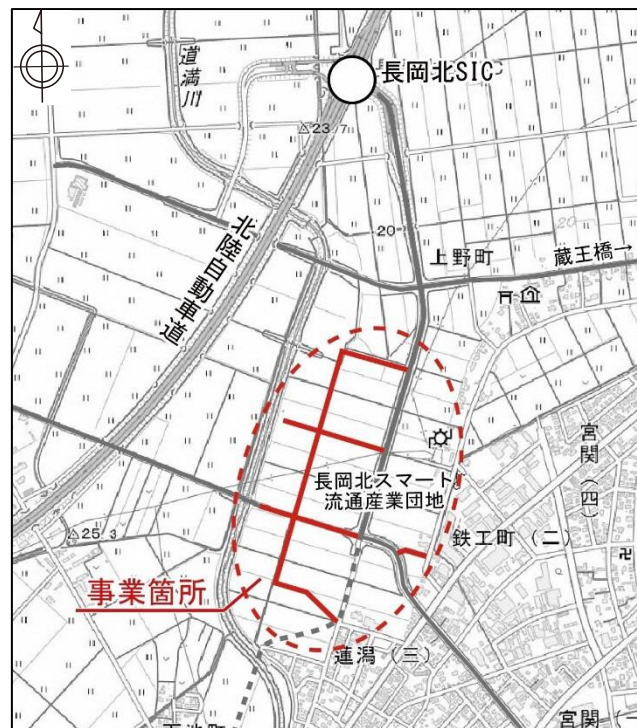
事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-013 新設（他）西幹線26号線ほか

目的・効果：当該路線の整備によって川西地域の物流効果を高めることができるようになり、また、流通産業団地と供用時期を合わせて整備することで、企業誘致の促進と地域経済のさらなる発展に寄与する。

事業の内容：道路新設 L = 1.6km

工期：H30～R03 【完了】



←【着手前】

【着手後】



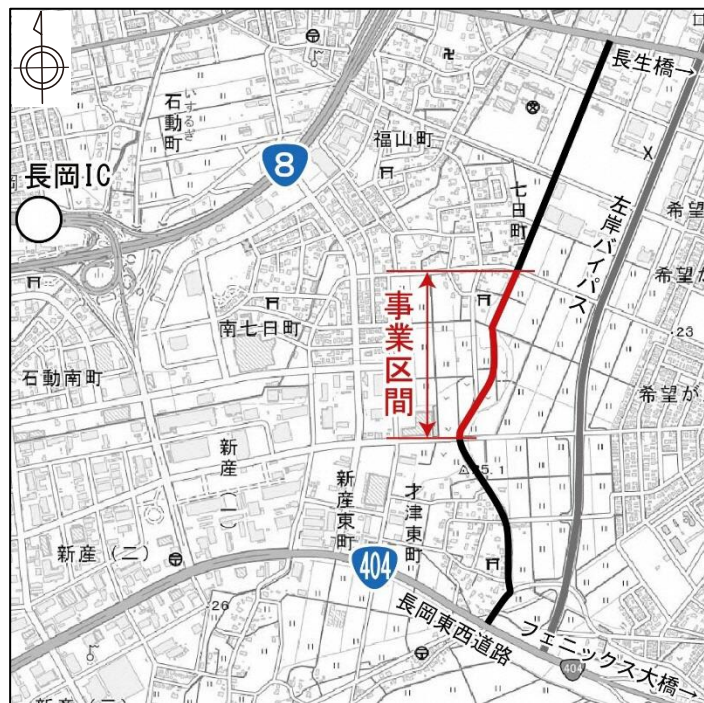
事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-014 改築（他）西幹線33号線

目的・効果：左岸バイパスの補完ルートとして整備し、市街地から長岡東西道路へ向かって左岸バイパスに一極集中する車両を分散化させることにより、渋滞解消と交通円滑化を図る。

事業の内容：道路改良 L = 0.5km

工期：R02～ 【継続】



←【着手前】

【着手後】



事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-015 交安（他）上川西144号線ほか（標識適正化）

目的・効果：川西地域一帯の道路整備に合わせ、道路標識適正化委員会で決定された標識の新設、部分補修等を行うことで、道路利用者の安全で円滑な移動の確保及び利便性の向上を図る。

事業の内容：道路標識設置 21基

工期：R02 【完了】



事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-016 改築（他）二和55号線ほか

目的・効果：分譲中の長岡オフィス・アルカディアと北陸自動車道のアクセス性が向上し、北陸・関西方面への物流を強化するとともに、既存企業活動の効率化や新規企業誘致の促進と地域経済の発展を図る。

事業の内容：道路新設、SICアクセス L = 0.99km

工期：R02～ 【継続】



事業の内容：2. 道路ネットワークの形成

01-017 改築（他）西幹線81号線ほか（標識適正化）

目的・効果：フェニックス大橋や道の駅ながおか花火館の整備に合わせ、効果的な案内標識を設置することで、川西地域の市内周辺物流効果を高めるとともに、企業誘致の促進と地域経済の発展を図る。

事業の内容：標識設置 N = 9基

工期：R03 【完了】



質 疑

2. 評価結果の内容について

(1) 成果の達成度

成果の達成度1

■ 計画の成果目標 1. 信濃川流域における工業団地のアクセス対策

項目		当初現況値 (H29)	目標値 (R04末)	評価値 (R04末)	目標 達成度
1	長岡北スマート流通産業団地から小千谷市役所までの到達時間（実走調査）	43分	40分	38分 (一部未供用)	○
2	西部丘陵地区から国道8号までの到達時間（実走調査）	10分	10分※1	10分	—
3	西部丘陵地区における企業立地件数（契約実績を調査）	20件	20件※2	22件	○

※1・2 事業完了が目標年以降（R09以降予定）のため目標年時点の値は変更なし。
事業完了後の最終目標値 ※1:5分 ※2:24件

目標達成度の凡例：○ 評価値が目標値を上回った場合

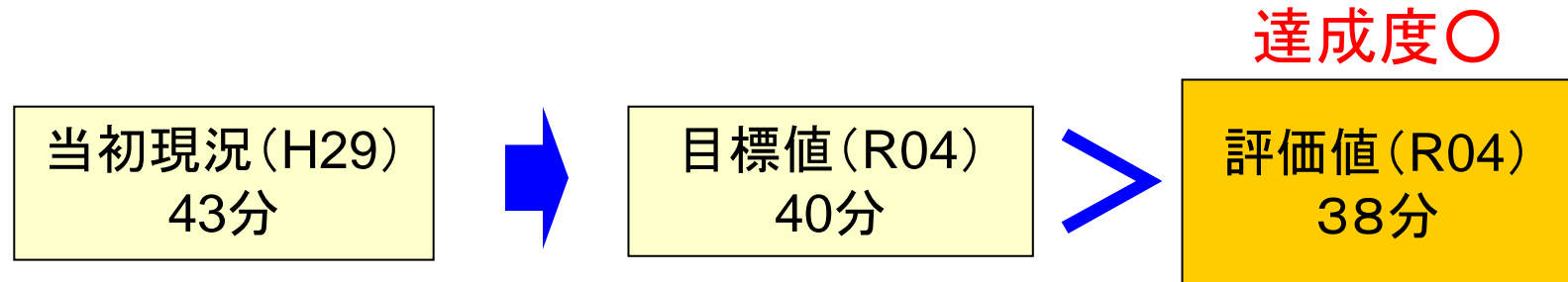
△ 目標達成はしていないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× 目標値に達成しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

— 現段階では達成度が評価できない場合

成果の達成度1

指標1 長岡北スマート流通産業団地から小千谷市役所までの到達時間



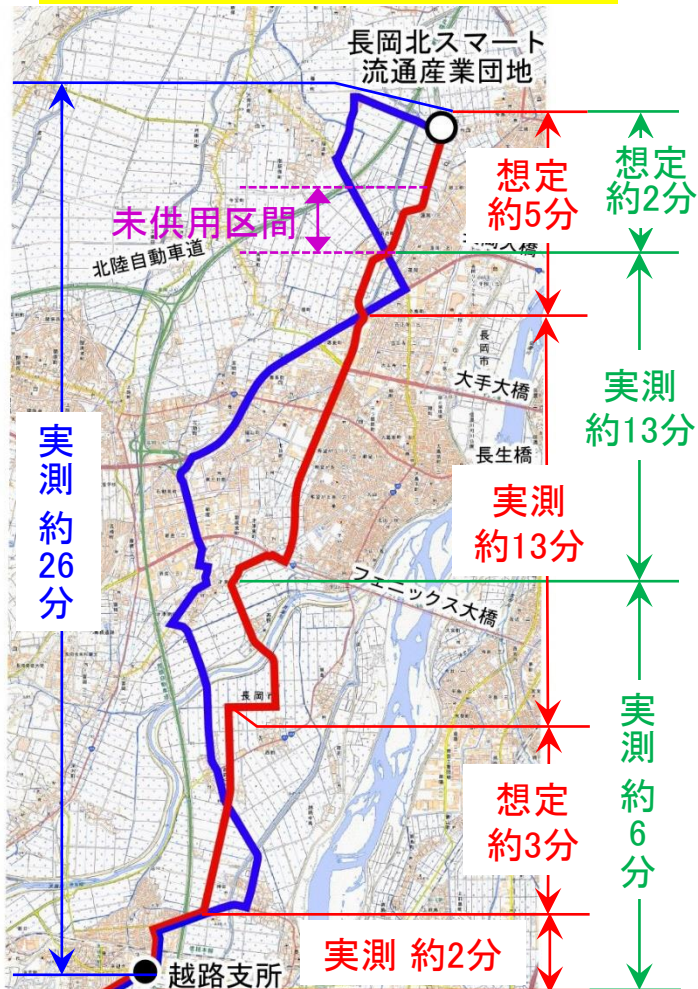
○計測ルート及び計測方法

項目	ルート	計測方法	設定値 (確定値)	備考
当初現況 (H29)	北SIC～R8～ (新産) ～ 県道166～R351～県道112～ 県道10～小千谷市	実測	43分	
目標値 (R04)	北SIC～左岸BP※～R404～	実測及び想定	40分	※：一部想定区間
評価値 (R04)	市道※～県道112～県道10～ 小千谷市	実測	38分	一部が供用開始されていないため評価値は見込みであり、全線開通後フォローアップする。

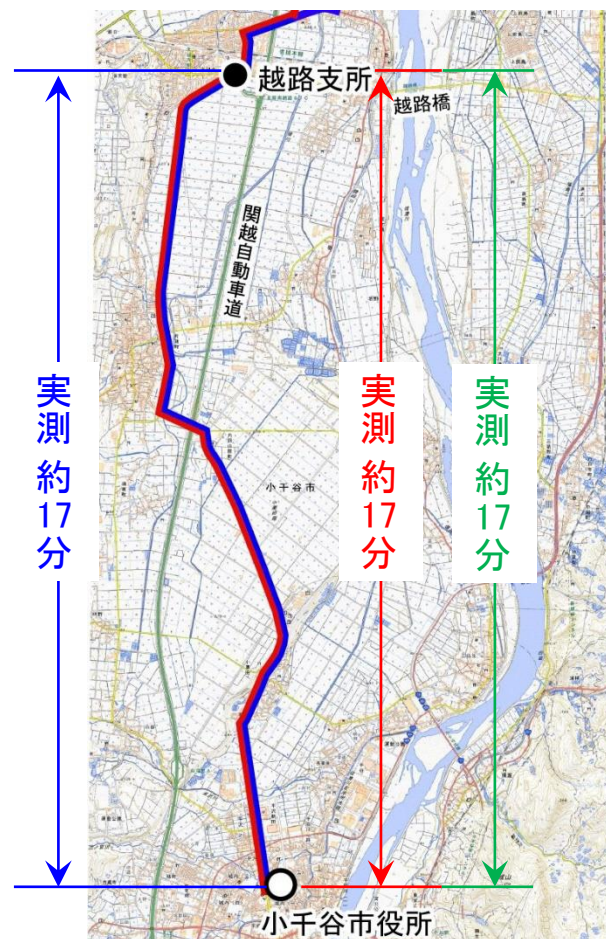
成果の達成度1

指標1 長岡北スマート流通産業団地から小千谷市役所までの到達時間 【ルート設定・目標値想定の方考え方】

長岡SIC～小千谷市役所ルート北側



長岡SIC～小千谷市役所ルート南側

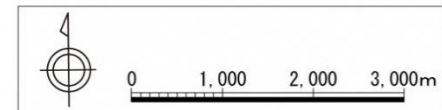


H29当初現況
約43分

R04目標値
約40分

R04評価値
約38分

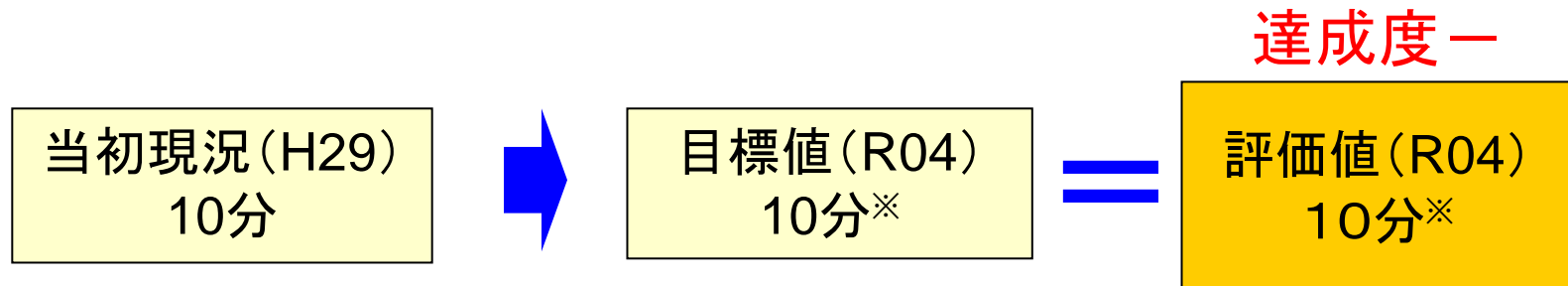
凡 例	
	事業前走行ルート
	事業後走行ルート



※事業後走行ルート(赤ルート)は、当初目標設定時に想定したものの

成果の達成度1

指標2 西部丘陵地区から国道8号までの到達時間



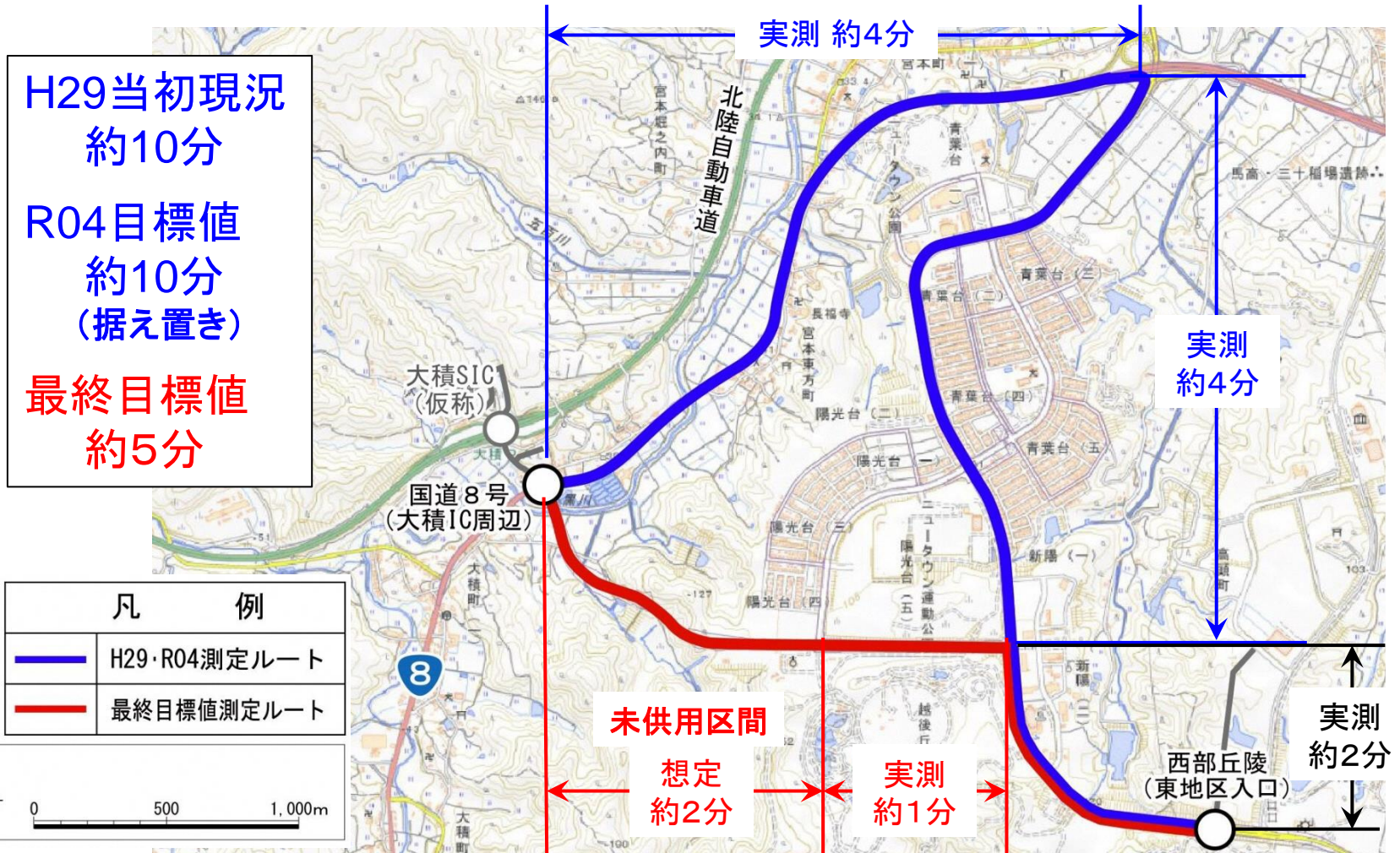
※西幹線84号線が未整備のため当初現況値を据え置く

○計測ルート及び計測方法

項目	ルート	計測方法	設定値 (確定値)	備考
当初現況 (H29)	西部丘陵 (東地区入口) ~ 県道48 ~ R8 ~ 大積SIC周辺	実測	10分	
目標値 (R04)				
最終目標値	西部丘陵 (東地区入口) ~ 県道48 ~ 市道 ~ 西幹線84号線* ~ 大積SIC周辺	実測及び想定	5分	※: 想定区間

成果の達成度1

指標2 西部丘陵地区から国道8号までの到達時間 【ルート設定・目標値想定の方考え方】



成果の達成度1

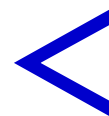
指標3 西部丘陵地区における企業立地件数

達成度○

当初現況(H29)
20件



目標値(R04)
20件※



評価値(R04)
22件

※西幹線84号線が未整備のため当初現況値を据え置く

①H29年度末までに契約した企業

地区	件数
オフィス・アルカディア	17
西部丘陵東	3
計	20

②H30～R04年度末に契約した企業

地区	件数
オフィス・アルカディア	1
西部丘陵東	2
計	3

③H30～R04年度末に解約した企業

地区	件数
オフィス・アルカディア	0
西部丘陵東	1
計	1

④R05年度以降に契約した企業

地区	件数
オフィス・アルカディア	1
西部丘陵東	1
計	2



出典:長岡市 産業立地・人材課

H29当初契約企業 ① : 20件
 R04契約実績企業 ①+②-③ : 22件
 R05現在契約企業 ①+②-③+④ : 24件

成果の達成度2

■ 計画の成果目標 2. 長岡市の安全で快適な道路ネットワークの形成

項目		当初現況値 (H29)	目標値 (R04末)	評価値 (R04末)	目標 達成度
1	新規工業団地（長岡北スマート流通産業団地）から小千谷市役所までの 到達時間 （実走調査）	43分	40分	38分 （一部未供用）	○
2	道路の実延長に対する有効幅員 6.0m以上道路の割合 の向上	(H28) 37%	38%	39%	○
3	道路の実延長に対する 除雪延長割合 を維持または向上	59%	59%	60%	○
4	長岡市内公設産業団地（オフィスアルカディア・西部丘陵東地区・長岡北スマート流通産業団地）の 企業立地面積割合 の増加	23%	62%	82% ※3	○

※3 R04年度末時点で未開通の道路があるため、R04年度末の最終目標値は途中過程の成果とする(R06年度末目標値:99%)。

目標達成度の凡例：○ 評価値が目標値を上回った場合

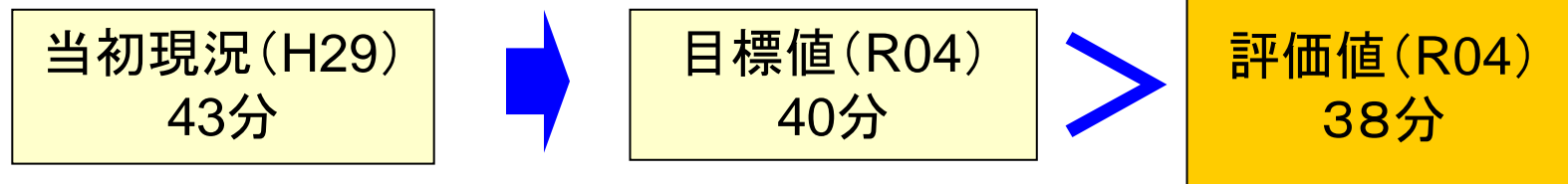
△ 目標達成はしていないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× 目標値に達成しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

成果の達成度2

指標 1 新規工業団地（長岡北スマート流通産業団地）から
小千谷市役所までの到達時間【1-1と同様】

達成度○



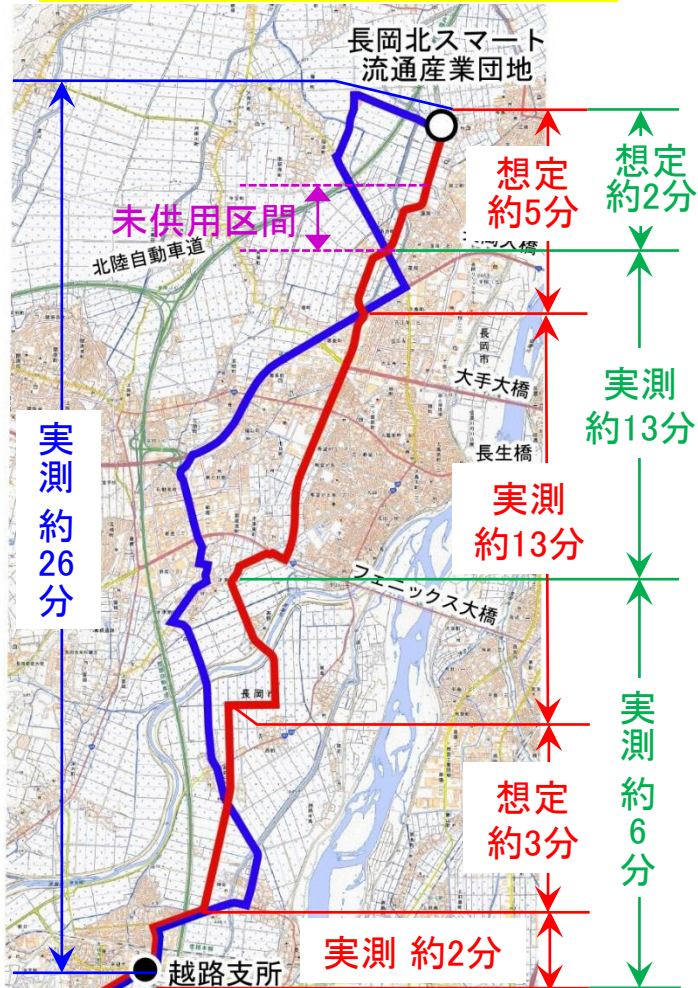
○計測ルート及び計測方法

項目	ルート	計測方法	設定値 (確定値)	備考
当初現況 (H29)	北SIC～R8～（新産）～ 県道166～R351～県道112～ 県道10～小千谷市	実測	43分	
目標値 (R04)	北SIC～左岸BP※～R404～	実測及び想定	40分	※：一部想定区間
評価値 (R04)	市道※～県道112～県道10～ 小千谷市	実測	38分	一部が供用開始されていないため評価値は見込みであり、全線開通後フォローアップする。

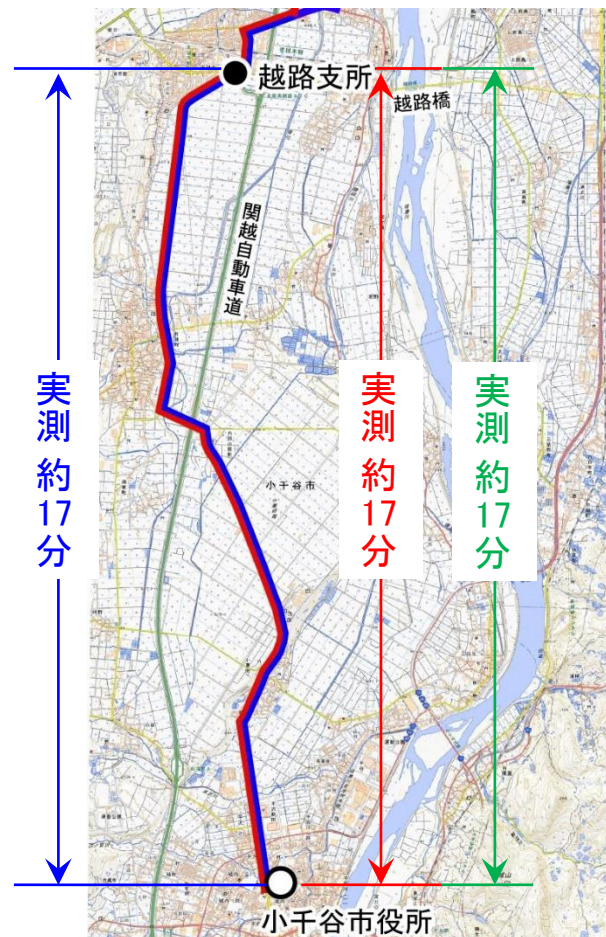
成果の達成度2

指標1 新規工業団地（長岡北スマート流通産業団地）から小千谷市役所までの到達時間【ルート設定・目標値想定のかえ方】

長岡SIC～小千谷市役所ルート北側





長岡SIC～小千谷市役所ルート南側

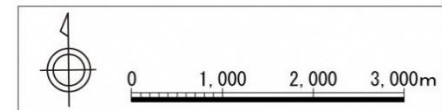


H29当初現況
約43分

R04目標値
約40分

R04評価値
約38分

凡 例	
	事業前走行ルート
	事業後走行ルート



※事業後走行ルート(赤ルート)は、当初目標設定時に想定したものの

成果の達成度2

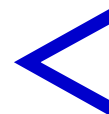
指標2 道路の実延長に対する有効幅員6.0m以上道路の割合

達成度○

当初現況(H28)
37%



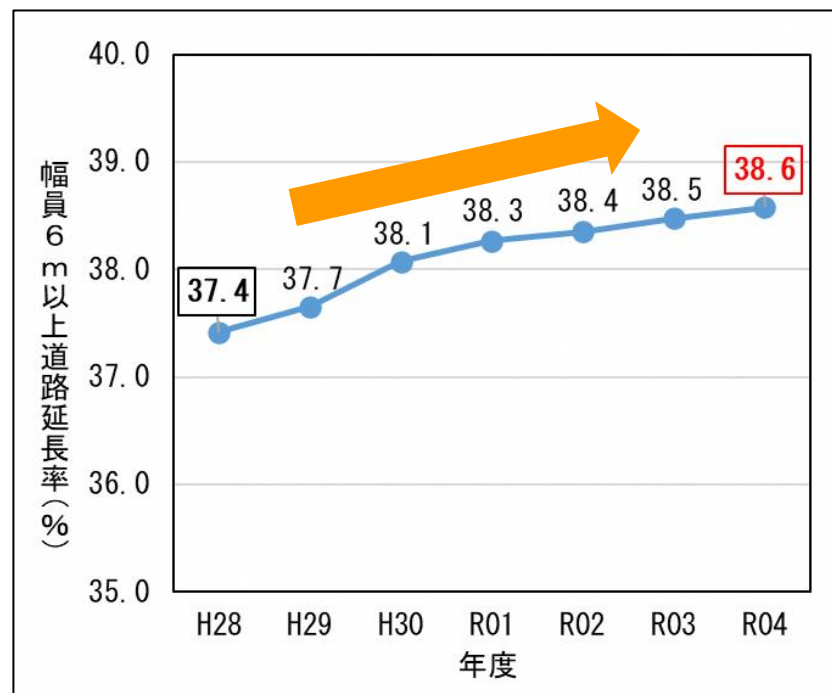
目標値(R04)
38%



評価値(R04)
39%

○長岡市道の整備状況（全市）

年度	確認時点	実延長に対する有効幅員6.0m以上延長の割合	対前年度割合差
H28	H29. 3. 31現在	37.4%	
H29	H30. 3. 31現在	37.7%	0.24
H30	H31. 3. 31現在	38.1%	0.42
R01	R2. 3. 31現在	38.3%	0.19
R02	R3. 3. 31現在	38.4%	0.09
R03	R4. 3. 31現在	38.5%	0.12
R04	R5. 3. 31現在	38.6%	0.10



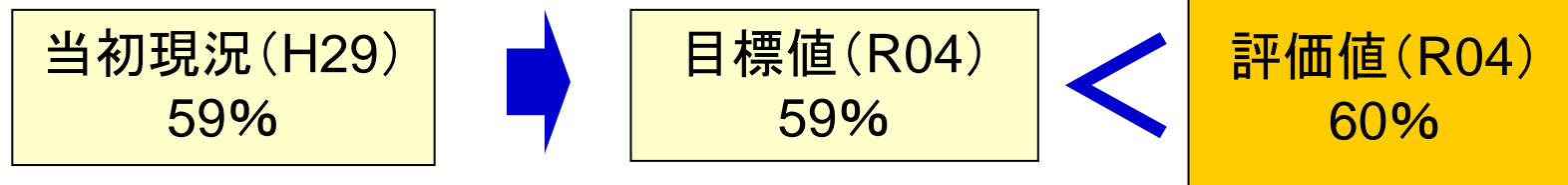
出典: 道路管理課資料「長岡市道の整備状況(全市)」

図 実延長に対する有効幅員6.0m以上延長の割合

成果の達成度2

指標3 道路の実延長に対する除雪延長割合

達成度○



○機械除雪と消雪パイプの整備状況

(単位：km)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
機械除雪	1,361.7	1,365.4	1,361.7	1,349.5	1,335.2	1,334.8	1,320.4
消雪パイプ	721.5	709.9	732.8	747.7	763.2	766.2	771.3
除雪延長	2,083.2	2,075.3	2,094.5	2,097.2	2,098.4	2,101.0	2,091.7

○市道実延長と除雪延長の割合

(単位：km)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
市道実延長	3,511.9	3,511.9	3,498.0	3,500.0	3,497.5	3,489.0	3,491.0
除雪延長	2,083.2	2,075.3	2,094.5	2,097.2	2,098.4	2,101.0	2,091.7
除雪率	59.3	59.1	59.9	59.9	60.0	60.2	59.9

本計画対象事業 ←→ 他計画事業

※本計画の事業としてはR02に完了しているが、同様の内容で継続しているため、ここではR04の実績を対象とする。

出典：道路管理課資料「機械除雪と消雪パイプの整備状況」

成果の達成度2

指標4 長岡市内公設産業団地（オフィスアルカディア・西部丘陵東地区・長岡北スマート流通産業団地）の企業立地面積割合 達成度○



■オフィス・アルカディア、西部丘陵東地区、長岡北スマート流通産業団地契約面積

種別	項目	オフィス・アルカディア	西部丘陵東地区	長岡北スマート流通産業団地	合計	割合
H29年度末 現況値	総面積(m ²)	122,531.68	311,159.58	280,000.00	713,691.26	—
	契約済面積(m ²)	82,998.88	81,150.96		164,149.84	23.00%
R4年度末 目標値	総面積(m ²)	122,531.68	311,159.58	267,000.00	700,691.26	—
	契約予定面積(m ²)	82,998.88	81,150.96	267,000.00	431,149.84	61.53%
R4年度 実績	総面積(m ²)	122,531.68	311,159.58	267,000.00	700,691.26	—
	契約予定面積(m ²)	88,671.03	235,333.15	252,685.63	576,689.81	82.30%*
R6年度末 最終見込値	総面積(m ²)	122,531.68	311,159.58	267,000.00	700,691.26	—
	除く不整形地面積(m ²)	7,163.46			7,163.46	—
	総面積－不整形面積(m ²)	115,368.22	311,159.58	267,000.00	693,527.80	98.98%

*R06年度供用予定の公設産業団地及び道路があるため、R04年度末の最終目標値は途中過程の成果とする(R06年度末目標値:96%)

出典:産業立地・人材課資料「オフィスアルカディア・西部丘陵東地区・長岡北スマート流通産業団地契約面積」

目標指標以外の成果の達成度

■ その他効果 1 : 大積 S I C と西幹線 84 号線整備への地元の期待

大積SIC及び周辺の幹線道路整備に合わせた交流施設の計画に地元が動き出す。地域活性化の切り札として期待されている。

2023年6月9日 新潟日報 新潟日报社提供

飲食店併設の農産物直売所

長岡・北陸道大積スマートIC付近に計画

2026年度中の供用開始を目指して整備が進む長岡市の北陸道大積スマートインターチェンジ（IC、仮称）付近で、地域活性化に向け、民間によるまちづくりが動き出した。

地元有志が株式会社「二和ドリーム」（青葉台1）を設立。まずは北陸道と並行する国道8号沿いに、飲食店併設の農産物直売所を開く計画だ。その上で、5～10年以内に情報発信機能などを充実させ、道の駅登録を目指す。里山として親しまれる立地を生かして観光客を呼び込みたい考えだ。

大積スマートICは高速道の利便性向上や防災機能の強化を目的に、長岡ジャンクションから北陸道西山IC（柏崎市）間の大積パーキングエリア（長岡市）で整備が進む。周辺では国道8号と長岡ニュータウンをつなぐ連絡道路の整備計画もあり、長岡市の新たな玄関口として交流人口の拡大や企業活動の活発化が期待されている。

二和ドリームはこうした動きに合わせて地域の魅力を高めようと、18年から有志が観光・産業振興を話し合ってきた「二和ドリームの会」

地域ビ

九所

二和ドリームはこうした動きに合わせて地域の魅力を高めようと、18年から有志が観光・産業振興を話し合ってきた「二和ドリームの会」が前身。17人が発起人となり、資本金1千万円で5月20日に設立した。現在は代表取締役を含め、役員3人体制となっている。



大積スマートICなどの供用開始に向け、民間によるまちづくりが動き出した長岡市宮本東方町周辺11日小型無人機から



地元有志が会社設立

「活性化の起爆剤に」

二和ドリームの名前は、旧宮本村と旧大積村が56年に合併し誕生した「二和村」＝60年に長岡市と合併＝に由来する。二和ドリームは当面、そば粉やジビエなど地域資源の掘り起こしを進め、

それらを売る飲食店併設の「ファーマーズマーケット」を2～5年以内にオープンする。場所は宮本東方町の国道8号沿いの林地を予定する。

並行して行政に投資を呼びかけ、おおむね5～10年以内にはファーマーズマーケット敷地内に駐車場やトイレ、情報発信といった機能を持たせた道の駅を整備したいと考えた。道の駅の設置主体は地方自治体で、設置に当たっては国土交通省から登録される必要がある。

二和ドリームによると、宮本・大積地区では現在の人口が約2100人とピーク時の半分以下に減り、地域の活力維持が課題になっている。同社の深見政英社長（75）＝晴耕舎会長＝は「地域の核となる観光施設をつくり、活性化の起爆剤にしたい」と話した。

域ビジネス

Local Business

目標指標以外の成果の達成度

■ その他効果 2 : 北SIC利用台数の動向

長岡北SICの利用者(台/日)は、コロナ自粛時期以外は増加傾向。
県内スマートインターチェンジの中でも群を抜いた利用者を誇るまで増加。

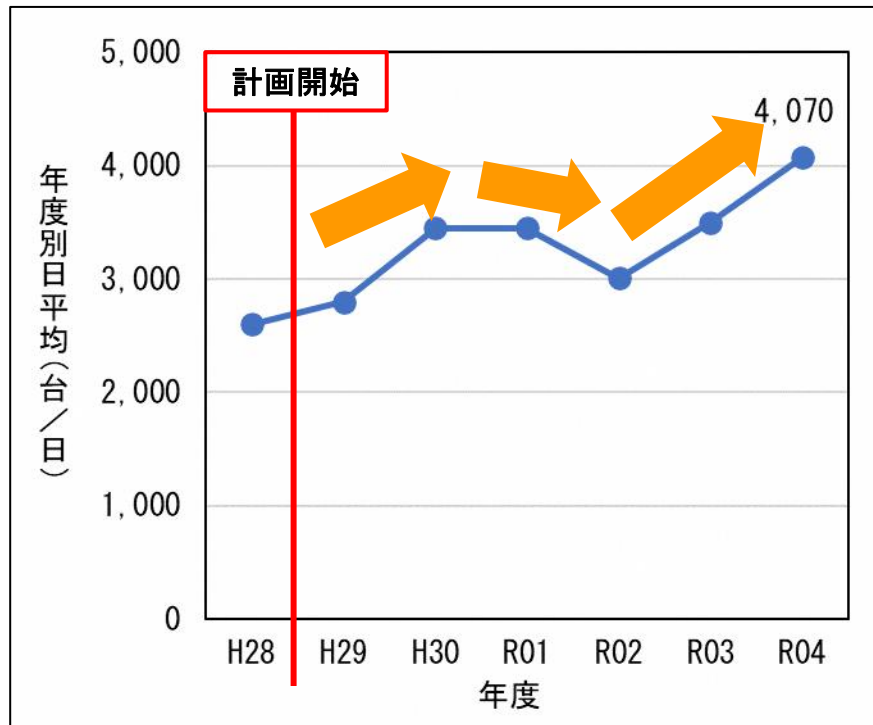


図 長岡北スマートICの年度別利用台数

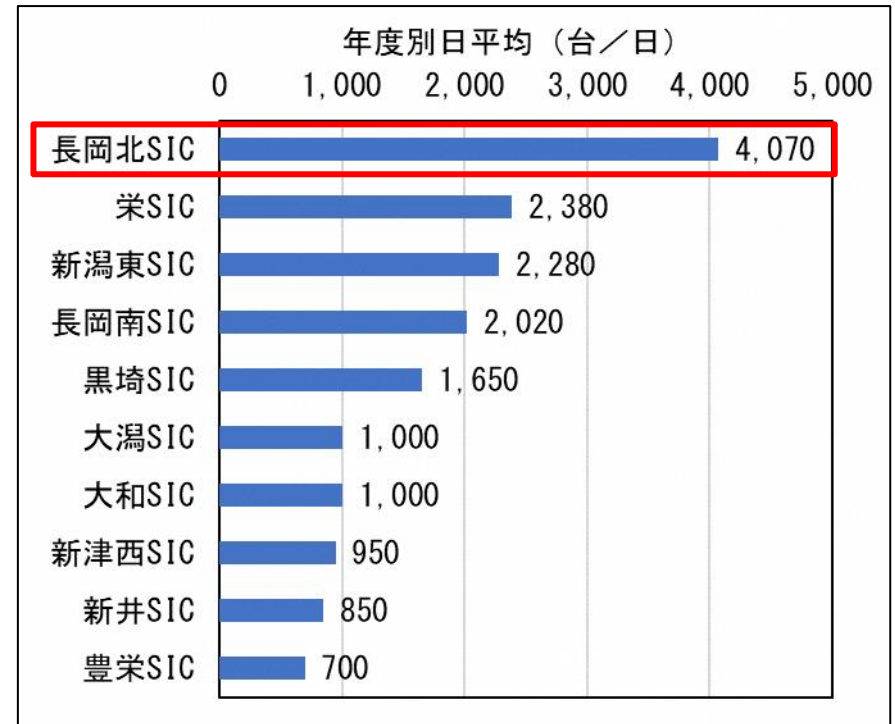
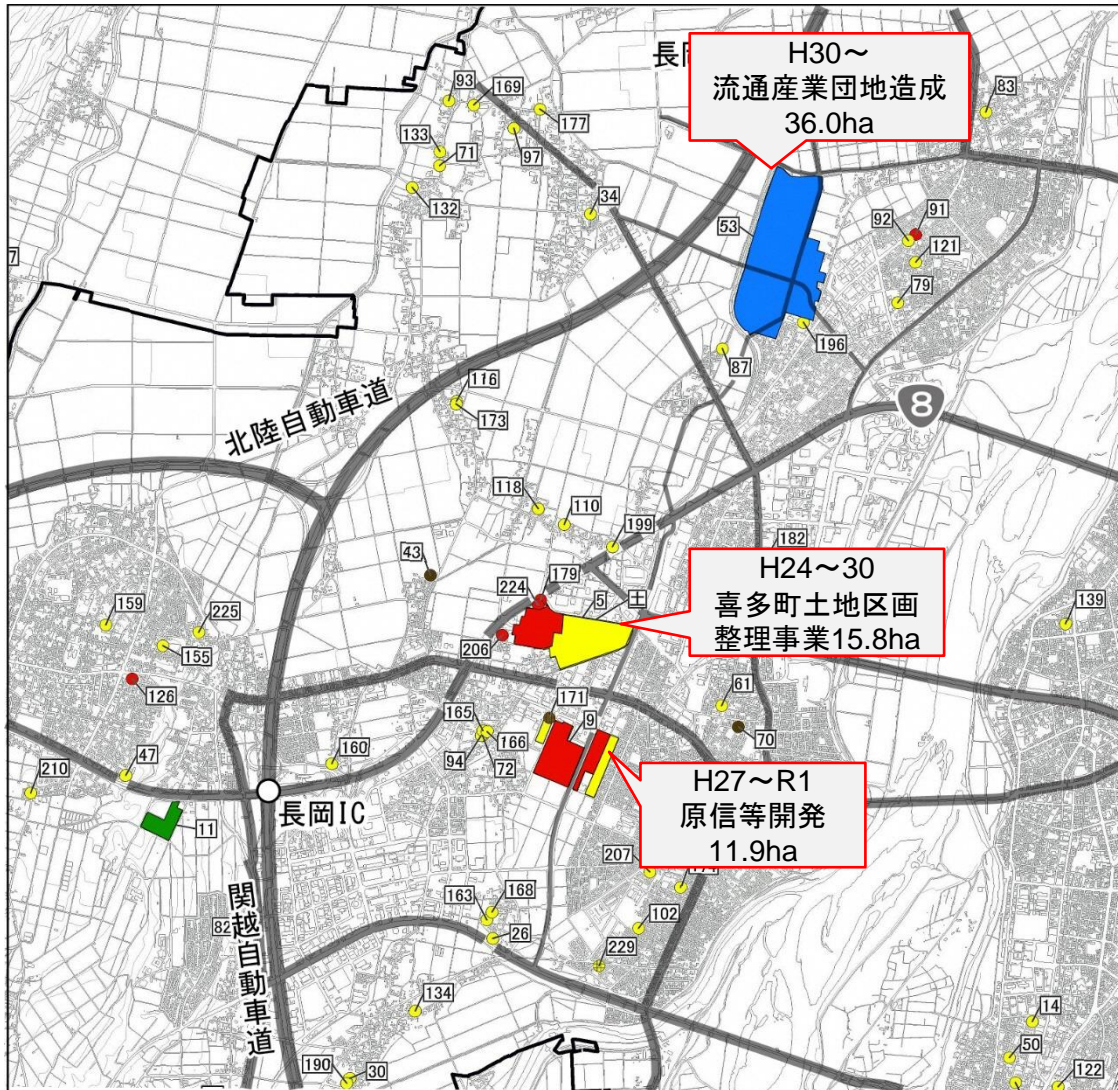


図 新潟県内スマートICの利用状況

目標指標以外の成果の達成度

■ その他効果 3 : 川西地区の近年の宅地開発状況



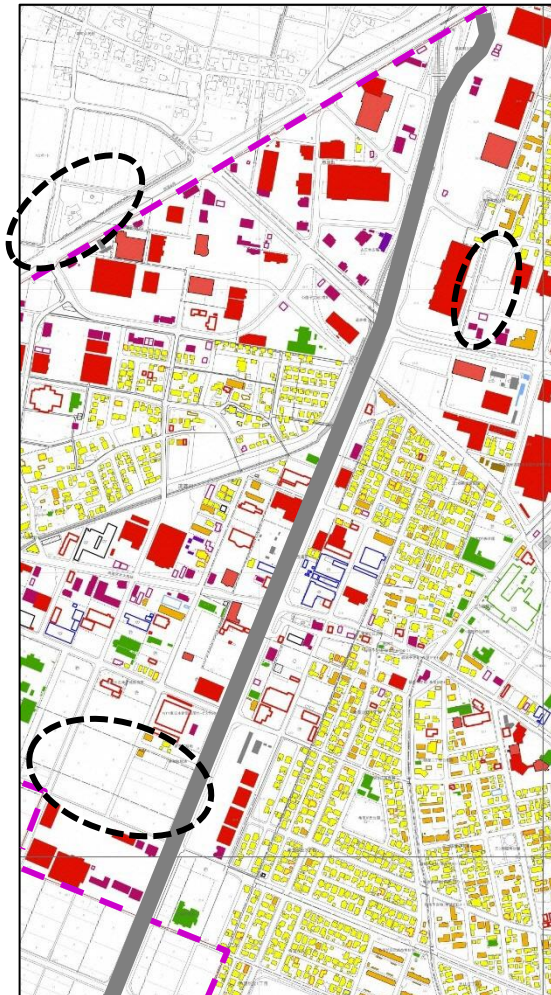
近年、左岸バイパス沿道とその周辺で10haを超える大規模な宅地開発が行われる。
1ha未満の小規模な宅地開発も左岸バイパス沿道とその周辺で多く行われている。

凡 例	
	商業系
	工業系
	公共系
	住居系

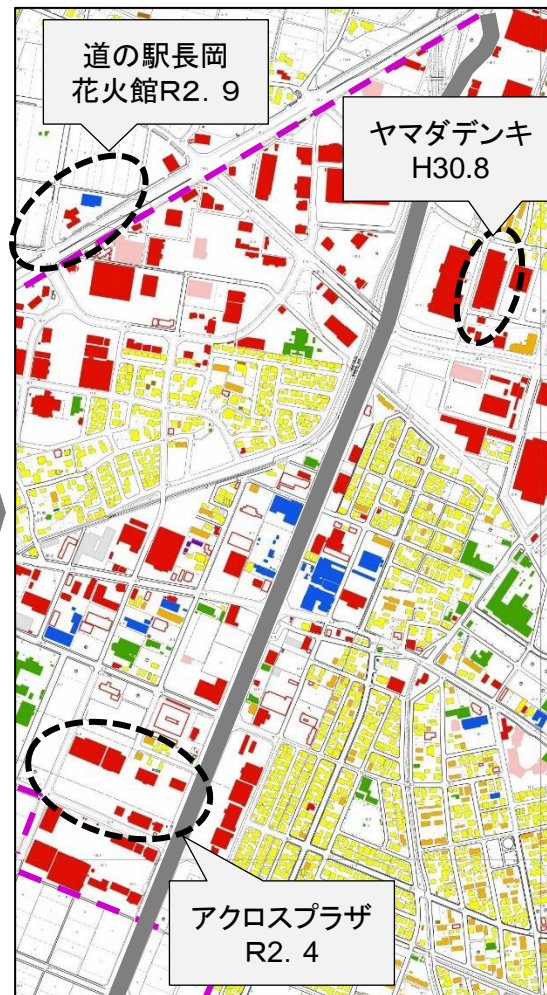
区域表示は1ha以上の開発
ドット表示は1ha未満の開発

目標指標以外の成果の達成度

■ その他効果 4 : 左岸バイパス沿道周辺の土地利用の変化



建物用途現況図(H29)



建物用途現況図(R04)

令和29年以降、左岸バイパス沿道とその周辺に集客施設が立地。

左岸バイパス沿道の市街化区域は商業業務施設で埋まる。

左岸バイパス及び周辺の道路整備等により、一層の交通利便の増進と沿道利用が活発になることが期待される。

--- 市街化区域

凡 例	
	商業系
	工業系
	公共系
	住居系

目標指標以外の成果の達成度

■ その他効果 5 : 左岸バイパス (雨池町～蓮湯町) 完工の効果

「01-001(1)西幹線81号線」が、令和6年1月18日に開通。

信濃川に架かる橋の交通量が増加する中、市中心部の渋滞緩和や経済活性化、防災上の効果も期待される。

将来は小千谷、長岡、燕の3市を結ぶ広域ネットワークの構築を視野に入れている。

2024年1月18日 新潟日報 新潟日报社提供

南北幹線「左岸バイパス」
長岡北スマートICまで延伸

きよつから



雨池町～蓮湯町区間が完工
交通分散、アクセス向上

長岡市が整備を進める南北幹線道路「左岸バイパス」(約10キロ)のうち、長岡北スマートインターチェンジ(IC)から長岡東西道路までの約5・2キロが18日、つながる。地図参照。市

長岡市が整備を進める南北幹線道路から南への延伸を進めており、交通量の分散やアクセス向上による経済の活性化につなげることを狙う。

18日午後2時に開通するのは、2015年度に始まった北延伸事業(総事業費約35億円)の最終区間で、雨池町付近から蓮湯町の700メートル。道路は片側一車線。左岸バイパスは長岡北スマートICから長岡南越路スマートICまでの約10キロを結ぶ計画。信濃川左岸の南北幹線として、1998



長岡市の幹線道路「左岸バイパス」の開通区間。18日午後2時の開通まではクッションドラムが置かれている。長岡市雨池町付近

※長岡市の資料を基に作成

年度に長岡東西道路とともに都市計画決定した。直近では2022年11月に古正寺町西交差点から雨池町付近の約1キロが開通した。国土交通省の全国道路・街路交通情勢調査による、長岡市の信濃川に架かる主要な六つの橋の12時間交通量(21年度)は合わせて約11万4千台。15年度と比べて17%増え、土木政策調整課の松木歩課長は「市内道路網の整備を続ける必要がある」と語る。

左岸バイパスの整備により、市中心部の渋滞緩和が期待される。また高速道路の接続性向上による経済活性化や、災害時の緊急路の確保も見込まれる。

市は、左岸バイパスが東西道路と交差する西津町より南への延伸に向け、用地買収などを行っている。将来は小千谷、長岡、燕の3市を結ぶ広域的な道路ネットワーク構築も視野に入れる。

目標指標以外の成果の達成度

■ その他効果 6 : 北S I C 開通後の課題解決

□ 長岡北SIC利用者アンケート

・H30.2.2(金)～5(月)、北SIC利用者に配布、配布:2,018、回答364

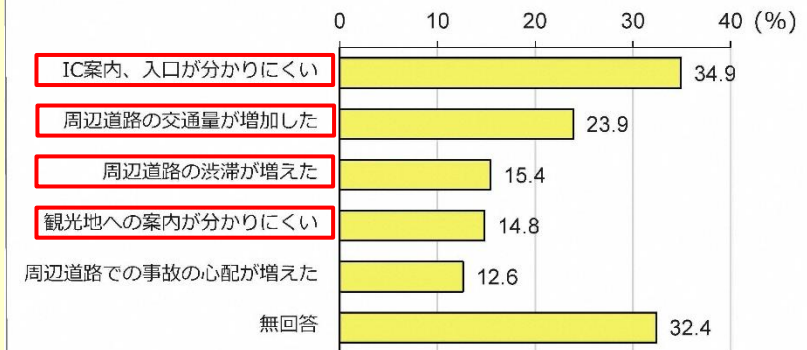
○「北SIC利用に際して不満や困ったこと」に関する問いについて、「**IC案内、入口が分かりにくい**」、「**周辺道路の交通量増・渋滞**」、「**観光地への案内が分かりにくい**」などがあげられた。

○対応策として「**各方面を示す案内標識**」、「**市道の除雪**」、「**左岸バイパス延伸**」、「**蔵王橋に向かう道路の拡幅**」などがあげられた。

●これら北SIC利用者の要望への対応に資するため、本事業が実施されている。

⑦ 課題（不満や困ったこと） ※複数回答可

「インターへの案内、入口が分かりにくい」が3割以上



課題	対応策
① 案内誘導標識の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターを降りた先の案内がわかりにくい ・ 入口の案内標識が小さい ・ 新潟方面、東京・富山方面の入り口がわかりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設標識に市北部地域への案内誘導表示を追加設置済 ・ <u>市内中心部に向けた案内標識設置を協議中</u> ・ インターの入口に<u>各方面を示す案内標識</u>を追加設置済
② 除雪体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路の融雪強化 ・ 周辺道路の除雪強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ランプ部の融雪装置についてはスマートIC整備時に設置済 ・ <u>市道部の除雪体制の強化</u>
③ 渋滞対策・周辺道路の整備要望 <ul style="list-style-type: none"> ・ 左岸バイパスまでの接続要望 ・ 蔵王橋通りに向かう狭あい部の拡幅要望 ・ 蔵王橋の渋滞対策、片側2車線化要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>左岸バイパス北部延伸事業</u>を実施中 ・ <u>蔵王橋通りに向かう狭あい部の拡幅</u>については、対策を検討中 ・ 蔵王橋の渋滞対策については、交通量調査を実施し、新潟県渋滞対策協議会にて対応策を検討

出典：長岡北スマートIC地区協議会アンケート調査（H30.2）の結果と対応策

2. 評価結果の内容について

(2) 事業の効果発現要因の整理

事業の効果発現要因の整理1

■信濃川流域における工業団地のアクセス対策

事業	要素事業	指標1 小千谷市役所までの 到達時間	指標2 西部丘陵～国道8号 の到達時間	指標3 西部丘陵の 企業立地件数
基幹事業	道路新設			
	01-001 (1)西幹線81号線	◎		
	01-002 (2)西幹線84号線		◎	◎

事業の効果発現要因の整理2

■長岡市の安全で快適な道路ネットワークの形成ー 1

	要素事業	指標1 小千谷市役所までの到達時間	指標2 幅員6m以上道路延長割合	指標3 除雪延長割合	指標4 公設産業団地企業立地面積割合
基幹事業	道路改良				
	01-001(1) 栃尾山田土ヶ谷本津川線		◎		
	01-003(他) 日越52号線ほか		◎	◎	
	01-004(1) 東幹線21号線ほか		◎	○	
	01-005(1) 越路817号線ほか		◎	◎	
	01-006(1) 東幹線78号線ほか		◎	◎	
	01-008(1) 宮内625号線ほか		◎	◎	
	01-009(他) 越路191号線ほか	◎	◎	◎	○
	01-011(1) 西幹線10号線ほか	○	◎	○	○
	01-014(他) 西幹線33号線	○	◎	◎	○
01-016(他) 二和55号線ほか		◎	○	◎	

事業の効果発現要因の整理2

■長岡市の安全で快適な道路ネットワークの形成－2

	要素事業	指標1 小千谷市役所までの到達時間	指標2 幅員6m以上道路延長割合	指標3 除雪延長割合	指標4 公設産業団地企業立地面積割合
基幹事業	道路新設				
	01-012(他)関原282号線		◎	◎	◎
	01-013(他)西幹線26号線ほか	○	◎	◎	◎
	除雪・春先除雪				
	01-002(1)東幹線1号線ほか	○		◎	○
	歩道整備				
	01-007(他)日越73号線ほか		◎		
	標識設置・改修				
	01-010(1)西幹線5号線ほか	○			○
	01-015(他)上川西144号線ほか	○			○
	01-017(他)西幹線81号線ほか	○			○

審 議
(意見聴取①)

3. 今後の整備方針について

本計画により達成されたことと、残された課題

事業前の課題	達成されたこと（効果）／残された課題	効果持続方策 改善方策	今後予定 している事業
<p>1. 新規造成される工業団地の活用に資する基盤整備をはじめとした広域幹線道路網の構築</p> <p>2. 広域幹線道路網における渋滞・安全・雪などの対策</p>	<p>【達成されたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ラダー型広域幹線道路網の西側縦軸（左岸バイパス）の延伸が進む。 ◆公設産業団地とICのアクセス性の向上が期待され、団地内の企業立地が進む。 ◆広域道路網の道路改良や新設により、渋滞のない円滑な道路交通の整備が進む。 ◆除雪、歩道整備、標識設置・改修により、広域道路網の安全・快適な利活用が進む。 <p>【残された課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「西幹線84号線」の事業が継続中となっており、工業団地から国道8号へのアクセスと物流効果向上が必要である。 ◆「栃尾山田土ヶ谷本津川線」、「日越52号線ほか」など8事業が継続中であり、今後も渋滞緩和や安全性確保に向けた事業を推進する必要がある。 ◆標識設置等に関する3事業は概ね完了しているが、今後はより快適な誘導環境整備により来訪者等の利便向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆さらなる広域幹線道路網の形成促進と快適性・安全性向上のため、計画的に事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆本整備計画で継続中となっている事業の実施 ◆災害時のリダンダンシー確保に資する道路整備事業の実施 ◆交通課題に向けた対策を推進するとともに、快適性の向上につながる事業を検討・実施していく

審 議
(意見聴取②)

ご審議ありがとうございました。